

思考(比較系)



かさなり発見ミラー

同意点整理

複数のものを映し出すと、同じ部分がピカッと重なり、違う部分が左右に飛び出して見える魔法の手鏡

【使用例】

縄文時代」と「弥生時代」を比べて住む場所や食べ物等の視点から違いや共通点を整理する、複数の植物を比べてつくりや花や葉の特徴から共通点や違いを見つける 等

熟練度 ☆☆☆☆☆☆☆☆☆

思考(比較系)



つながりマグネット

関連付け

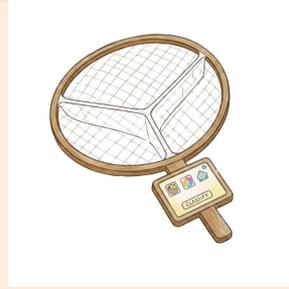
離れている情報同士を磁石のように引き寄せ、どんな関係になっているかを見つける道具

【使用例】

地形と人々の暮らしをつないでなぜそこに町ができたか考える、気づきを出し合って関連するもの同士をつなげて整理する 等

熟練度 ☆☆☆☆☆☆☆☆☆

思考(比較系)



分類ネット

分類

共通点に注目して、バラバラな情報をグループごとにすくい上げるネット

【使用例】

調べた情報を事実と意見に分ける、英単語を「名詞」「動詞」「形容詞」等で分ける、聞こえてくる音を「木管楽器」「金管楽器」「弦楽器」「打楽器」の4つに分けてそれぞれがどんな役割か分析する 等

熟練度 ☆☆☆☆☆☆☆☆☆

思考(比較系)



傾向スキャナー

順序付け

表やグラフ、数値や事例などの情報を読み取り、共通のパターンや、全体の傾向(増減等)を見つけ出す道具

【使用例】

折れ線グラフをスキャンして時間の経過とともに数値がどう変化したか読み取る、シュート成功率を分析し「左右どちらからの成功率が高いか」の傾向を掴む 等

熟練度 ☆☆☆☆☆☆☆☆☆

思考(分解⇔統合系)



ナンバーバサミ

傾向分析

複雑なものを細かく分けたり、構造やプロセスの意味を整え直したりする道具

【使用例】

物語を「はじめ・中・終わり」の段階に分けて整理する、文を言葉のパーツに切り分けて正しい並び順(語順)を考える、調理実習の工程を分けて「お湯を沸かす間に野菜を切る」等 効率的な順序を考える 等

熟練度 ☆☆☆☆☆☆☆☆☆

思考(分解⇔統合系)



だいじしぼり機

抽象化

対象の中から大事な要素や法則、原理等をしぼり出す道具

【使用例】

クラスみんなの意見から共通する「一番大事なルール」を抜き出す、物語の主人公の具体的な行動や発言等の描写から性格を考える 等

熟練度 ☆☆☆☆☆☆☆☆☆

思考(分解⇔統合系)



深掘りドリル

理由付け

地面を掘るように「なぜ?」「どうして?」と理由や根拠、予想を探るドリル

【使用例】

なぜシュートが入らなかったのか?という原因を足の向きやボールを蹴る場所等から深掘りする、主人公の行動の理由を叙述(言動、風景描写等)をもとに考える 等

熟練度 ☆☆☆☆☆☆☆☆☆

思考(分解⇔統合系)



構造化ボンド

構造化

バラバラの考え等を、網の目やピラミッドのような形にピタッとくっつけて整理するボンド

【使用例】

学級会の係活動を誰が・どこで・何をするかという「組織の図」にして整理する、実験の目的・方法・結果・考察といった要素を組み立てて分かりやすい報告書に整理する 等

熟練度 ☆☆☆☆☆☆☆☆☆

思考(分解⇔統合系)



つぶつぶスプレー

具体化

対象にかけると、それが具体的な例や要素に分かれて、詳しく見えるようになるスプレー

【使用例】

「にぎやかな音」を「ラッパのプープーという音」「太鼓のドンという音」等と具体的に書き出す、「みんなが楽しめる遊び」の具体例を考える、「好きな風景」の具体例を考えて共通する要素を考察する 等

熟練度 ☆☆☆☆☆☆☆☆☆



● 思考(多面・多角系)



五感レーダー  
五感

五感(見た目・音・におい・感触・味等)のアンテナで、情報をキャッチするレーダー

【使用例】  
料理のレポートで「シャキシャキした歯ごたえ」「香ばしいかおり」「いろいろの鮮やか」等を記録する、植物の観察レポートで「花のにおい」「葉っぱの手触り」等を記録する 等

■ 熟練度 ☆☆☆☆☆☆☆☆☆

● 思考(多面・多角系)



立場チェンジ帽子  
多視点

かぶるだけで、自分・相手・第三者などと、違う立場になって考えられる帽子

【使用例】  
ドッジボールのルールについて「強い子」と「苦手な子」の両方の視点からみんなが楽しめる方法やルールを考える、あるテーマについて「賛成」「反対」の立場で考える 等

■ 熟練度 ☆☆☆☆☆☆☆☆☆

● 思考(多面・多角系)



教科ボックス  
教科の見方・考え方

対象を中に入れると、タッチパネルで選んだ教科の見方・考え方で映し出される不思議な立方体

【使用例】  
算数レンズ:学校の階段を「段数や角度」等の数字で捉えて見てみる 図工・美術レンズ:いつもの通学路を「色の組み合わせ」や「形の面白さ」という視点で眺めてみる 等

■ 熟練度 ☆☆☆☆☆☆☆☆☆

● 思考(多面・多角系)



置き換えスイッチ  
置き換え

「もし〜なら?」「簡単な数なら?」と、場面や条件を切り替えて考えやすくしたり、考えを広げたりするスイッチ

【使用例】  
分数や小数の問題に出会った時「簡単な整数」に置き換えて解き方を考える、「もしゴミを捨てるのに1kg千円かかるルールだったら?」と置き換えてゴミを減らすためのアイデアを広げる 等

■ 熟練度 ☆☆☆☆☆☆☆☆☆

● 思考(多面・多角系)



タイムワープスコープ  
多視点

「過去・現在・未来」の時間をのぞき込み、それぞれの時代の様子を映す望遠鏡

【使用例】  
「今の歌」と「100年前の歌」を聴き比べてリズムや歌詞の変化を感じ取る、自分たちが住む地域の環境が「30年後の未来」にどうなっているかを予想して今できる取組みを考える 等

■ 熟練度 ☆☆☆☆☆☆☆☆☆

🔥 学び方



自分エンジンマニュアル  
主体的

自分の得意・苦手や学び方の特徴を知り、最適な学習方法を選ぶための手引き書

【使用例】  
好きな事や得意な事をもとに目標を立てる、集中できる時間帯に短時間で取り組む計画を立てる、飽きないようにトピックを変えながら学習する、習慣化するまで繰り返す(すぐ諦めない、難易度を上げすぎない) 等

■ 熟練度 ☆☆☆☆☆☆☆☆☆

🔥 学び方



リトライスニーカー  
困難乗り越え

失敗の衝撃を吸収して再挑戦の力に変え、蓄積した学びをブーストさせて成長の壁を駆け上がる魔法のスニーカー

【使用例】  
間違えた原因を振り返って考え方を修正する、話し合いがまとまらない時は進め方を変えてやり直す、情報が足りない時は調べる媒体を変えて収集し直す、困った時は詳しい人等に聞いてみる 等

■ 熟練度 ☆☆☆☆☆☆☆☆☆

🔥 学び方



ききみみつなぎ辞典  
対話的

人の話をつなぎ、学びを広げて続け、共通理解や新しい考えを生み出すなど、対話をうまく導くための辞典

【使用例】  
わからないところはクラスメイトに聞く、はげまし合う、アドバイスし合う、お互いの得意を生かして一緒につくる、新たな価値やアイデアを見出す 等

■ 熟練度 ☆☆☆☆☆☆☆☆☆

🔥 学び方



ぐるぐる思考の古文書  
深い学び

習得・活用・探究サイクルで考えと行動を行き来させながら、試行錯誤で答えに近づく思考の秘伝書

【使用例】  
思考を深めるスキルを使って整理する、学びを誰かに説明する、学んだことを使ってみる、学びを要約する、自分の考えを持つ、応用・適応問題に取り組む 等

■ 熟練度 ☆☆☆☆☆☆☆☆☆



🍀 学び方



チャレンジコンパス

課題・目標設定

自分にぴったりのチャレンジゾーンを見極め、成長のプロセスをナビゲートする多機能なコンパス

【使用例】

前回間違えたタイプの問題に挑戦する、今の自分に合うレベルでやってみよう、うまくいかなければやり方を調整する、できたことに1つ工夫を足してみる、全体にできることからやって自信をつけて次に進む等

📊 熟練度 ☆☆☆☆☆☆☆☆☆

🍀 言語



多読メガネ

読む

文章の要点や構造を捉え、内容を正しく深く理解するための読解サポートメガネ

【使用例】

指示語や接続語や図表の意味を理解して読む、文章や資料の内容を構造的に理解して読み取る、情報の出どころを確認して信憑性を自分で判断する等

📊 熟練度 ☆☆☆☆☆☆☆☆☆

🍀 言語



虹色インクのペン

書く

考えや情報を整理し、目的や相手に応じた文章で表現する力を育てるカラフルなペン

【使用例】

文のつながりや段落構成を考えてわかりやすく書く、構成や段落のつながりを考えて文章を組み立てる、読み手に不要な部分を削ったり言い換えたりする等

📊 熟練度 ☆☆☆☆☆☆☆☆☆

🍀 言語



響き渡るマイク

話す

考えを整理し、相手に伝わるよう順序や言葉を選んで話す力を高める発信のマイク

【使用例】

言葉づかいや順序を工夫して相手に伝わるように話す、順序よく筋道立てて説明する、自分の経験や気づきを他の人にも伝わるように発信する等

📊 熟練度 ☆☆☆☆☆☆☆☆☆

🍀 言語



虫眼鏡ヘッドフォン

聞く

話の要点や意図を聞き逃さず、理解を深めながら学びにつなげるための聞く力の装備品

【使用例】

相手の話をよく聞いて必要に応じて質問やうなずきをする、友だちの発表を聞いて表現の工夫に気づく、相手の意図を確かめる等 理解しようとする等

📊 熟練度 ☆☆☆☆☆☆☆☆☆

📌 情報



魔法のタブレット

情報活用

必要な情報を集めて比べ、整理しながら、学習や課題解決に効果的に生かす道具

【使用例】

写真や動画を撮影する、インターネットで複数の資料を集める、観察データを表やグラフに整理する、整理したものをスライドにわかりやすく表現する、アンケート結果を集計し分析する等

📊 熟練度 ☆☆☆☆☆☆☆☆☆

📌 情報



知恵ナビランタン

情報の適切な取り扱い

情報の真偽やマナー、リスクを見極め、安全で責任ある行動へ導くためのランタン

【使用例】

ルールを守って正しく使う、情報をうのみにせず複数の資料で事実が確かめる、オンラインで公開するときに本名や個人が特定される情報を書かない、メディアによって得られる情報や印象が異なることを知る等

📊 熟練度 ☆☆☆☆☆☆☆☆☆

📌 情報



からくりスケルトン

情報の特性理解

コンピュータやAIの仕組みや特性を見抜き、アルゴリズムやデータの流れを理解するモノクル(片眼鏡)型デバイス

【使用例】

検索結果の並び方に仕組みがあると知る、計算アプリの処理の仕組みに気づく、生成AIを使いながらAIが得意・不得意なことを整理する、身近な課題を解決するプログラムを作る等

📊 熟練度 ☆☆☆☆☆☆☆☆☆

📌 協働



ハーモニーバトン

対話

敬意と傾聴を支え、意見を見える化して、違いを組み合わせて対話をサポートする魔法のバトン

【使用例】

相手の考えを尊重して意見交換する、話はさえぎらずに最後まで聞く、互いの作品の良さを伝え合う、立場の違う意見を比べて考える、メンバーの長所を生かしてグループの役割分担を考える等

📊 熟練度 ☆☆☆☆☆☆☆☆☆



♥ 協働



リンクリング  
学習形態選択

状況に応じて個人・ペア・グループを切り替え、最適なつながりをつくる協働学習を支援する不思議な指輪

【使用例】

まず一人で考えてからその後ペアで確認する、実験はグループで行って考察は個人で行う、メンバーの長所を生かして調査を分担してまとめを全体で行う、内容に応じて話し合いの形態を変える等

≡ 熟練度 ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

■ 思考(比較系)

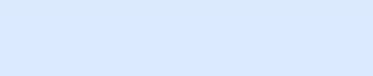
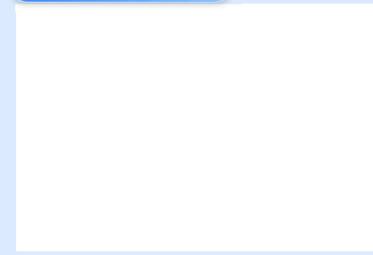


【使用例】



≡ 熟練度 ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

▲ 思考(分解↔統合系)

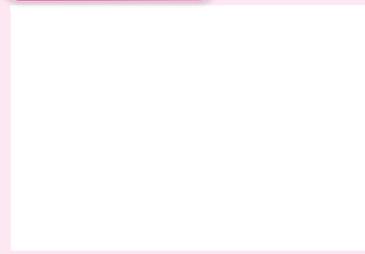


【使用例】



≡ 熟練度 ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

● 思考(多面・多角系)

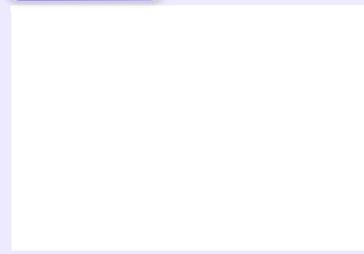


【使用例】

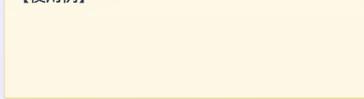


≡ 熟練度 ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

★ 思考(特殊系)



【使用例】



≡ 熟練度 ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

👉 学び方

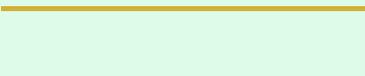
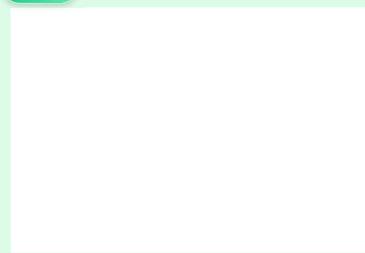


【使用例】



≡ 熟練度 ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

♣ 言語

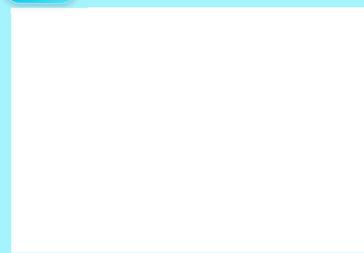


【使用例】



≡ 熟練度 ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

◆ 情報



【使用例】

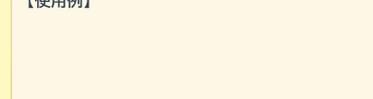


≡ 熟練度 ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

♥ 協働



【使用例】



≡ 熟練度 ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

